

	号外	定価1部2円	人員確保闘争が本格化！各支部・分会からも分会基礎調査結果をもとに職場からの要求を強化しよう！
	昭和34年4月1日 第3種郵便物認可	発行所 盛岡市内丸10番1号 岩手県庁内 岩手県職員労働組合	

7.8 人員確保要求書提出・交渉 実態踏まえた増員求める =任期付職員経験者選考採用要請書も提出・採用増を= 人員確保に向け支部・評協議会要求の強化を

7月8日、県職労は知事あて「人員確保に関する要求書」を村上人事課長に提出した。要求書には、5～6月に取り組んだ「分会基礎調査」を踏まえた人員要求数も盛り込んだ（人員要求数202人）。併せて、任期付職員の任期の定めのない選考採用が行われるに当たり、選考採用枠拡大及び勤務実績に十分考慮した採用を求める要請書も提出し、人事課長と交渉を行った。



村上人事課長（左）に要求書を提出する大崎委員長



課題を訴える県職労4役

①人員確保に関し、村上人事課長は「各所属の状況をWEB会議でヒアリングを進め、担当部局と意見交換し体制を検討」、「コロナ感染防止、経済活動の再開や雇用対策など新たな需要を踏まえ体制を決定」との姿勢を示すも、専門職処遇改善や超過勤務実態を踏まえた人員増に関しては、現状姿勢にとどまった。交渉団から、分会基礎調査から得られた現場要求の実態や災害等を見据えた体制拡充、専門職処遇改善を求めた。

②会計年度課題（人員不足や勤務時間の短縮で職員負担が増加している課題等）に関し、「各所属からの実態調査結果を集約中。運用上の課題を踏まえ改善に向けて努力」との姿勢を引き出した。③任期付職員課題は、「経験者採用は貴重な即戦力。採用予定数は退職者や他の採用試験の採用予定数を勘案し決定」としたことから、採用枠拡大を強く要望した。

大崎委員長から、若手職員への指導業務も増加しており、実態踏まえた増員を強く要請。人事課長は「過去の行財政改革が影響している。実態把握し体制確保に向け努力」と応じた。当局検討の本格化を見据え、支部・評協議会の要求も重要。取組強化をお願いする。



見解示す村上人事課長

7.8 現業評議会 人事課要望書提出・交渉

現業退職者の完全補充 求める ＝管財課運転技士・2021新規採用の見解引き出す＝

7月8日、現業評議会（議長：永洞俊司畜産研究所分会）は、退職者の完全補充（再任用希望者の任用確保、新規採用者の確保）、賃金改善を柱とする要求書を村上人事課総括課長に提出し、秋の現業闘争に向けて検討を強く求めた。



村上人事課長に要求書を手交する永洞議長（右）

① 管財課運転技士の補充

（人事課長）今年度1人を新規採用。来年度の採用も募集を行う方向で現在検討（7月中の募集開始予定）。今後も管財課と協議し連携して対応。

（現業評）2021年度に向けた新規採用の募集が継続する方向であることは受け入れる。もともと、管財課運転技士は高齢化が続いており、若手の新規採用者の計画的な採用を引き続き強く求める。



完全補充求める現業評交渉団

② 土木部運転技士の今後の在り方

（現業評）昨年度交渉では、人事課長から「県土整備部の運転技士は業務をどのような形で今後行うか、必要な職員数はどれくらいか県土整備部と意見交換して検討していく必要」があると確認。今年度も再任用満期者が複数公署であり、新規補充は不可欠。正規運転技士の配置を前提とした在り方とし、早期に方向性を見出せるよう要望する。

（人事課長）県土整備部と意見交換をし、適正は配置に向け検討を進めていく。

検討結果を示す時期を見通すのは難しいが、要望を受け止め、検討を進める。

（現業評）災害も頻発している。災害時の現場力を活かした対応のため各土木部には正規の運転技士は不可欠。1人職場解消はもとより、正規の運転技士配置を前提とした中長期的在り方を示し、新規採用を行っていただきたい。



回答する村上人事課長

③ 試験研究機関等の技能員の増員

（人事課長）退職補充に関しては、昨年度まで新規採用をしてきた。今後も農林水産部から職場状況を聞き、適切に対応。

（現業評）高齢化も深刻し、恒常的に人員不足。計画的な増員を含めた新規採用を強く求める。

現業評は同日に農林水産企画室・県土整備企画室・管財課にも要請書を提出。現場実態を訴え改善を求めた。農林水産企画室から欠員の農研センター技能員の補充に向け募集を検討中との回答を確認。

県土整備企画室から土木部運転技士の配置の在り方検討に向け、7月に各公所に詳細な業務実態（業務従事時間、内容等）調査をしており、現場の意見をもとに人事課に要求を進めるとの回答を確認した。